

駐車場

駐車場

駐車場

Bauty& Healthエリア

アミューズメントホテル  
記念型コンプレックス

大衆食堂

高級  
レストラン

Golden Beachエリア

幼児、子供用  
遊戯施設  
(ブランコ等)

Beach Parkエリア

サイクリング・ロード

駐車場から信号無しでアクセスする  
通路 (ペDESTリアンデッキ)

ホスピタリティあふれる  
ウッドデッキとウッドの椅子

岸の輪漕艇

## <ゾーニングの考え方>

それは、<自然>を時間軸の中で感じられる、豊かなく人間>の空間と捉えたい。したがってゾーニングは、エリアをエコソフィアを実現するための 5つのポイントで構成する。

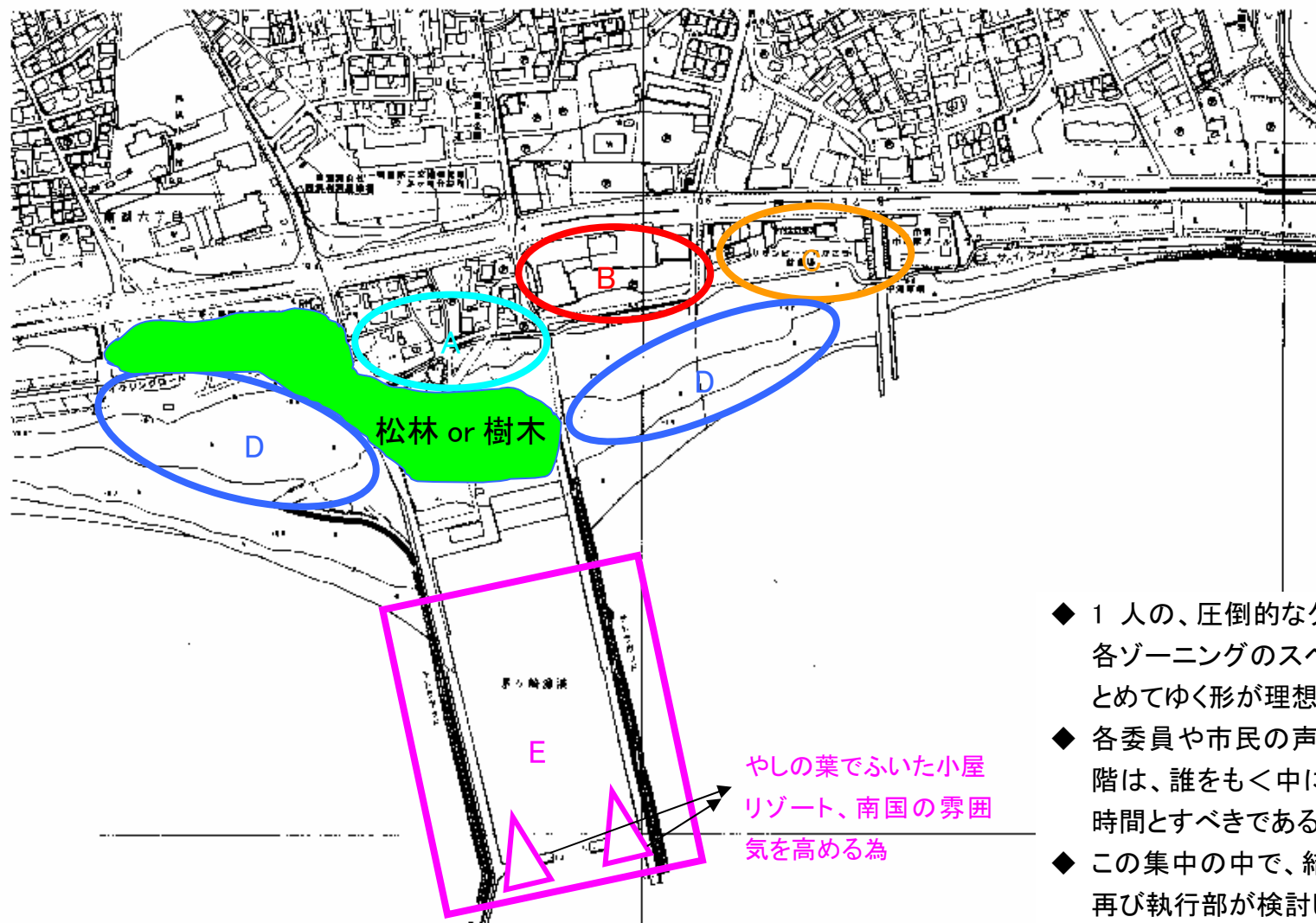
1. B 地区<遊>を柱とする人間(UOMO)の交流・交差の空間
2. C 地区<健>を柱とする心身の鍛錬と解放の空間
3. A 地区<食>を柱とする自然への感謝と祈りの空間
4. D 地区(砂浜)はエリア全体を茅ヶ崎の最大の財産としてとらえ、徹底して<美>を基準に、砂の質、色、汚れを管理・創造する体制を必要とする。
5. E 地区(漁港)の大改造。現在は「テトラポット要塞」としてしか写らない漁港を、ピカソや岡本太郎のような既成概念を打ち破るアーティスト(海外も可)を採用して、ランドスケープを中心に、<色彩>を加える必要がある。そして、シルエットとして海の風景を浮き立たせるやしの葉風の建造物を2~3求める。それは、我々の視覚の財産“えぼし岩”を引き立たせる脇役の存在を意味する。

全体の構成としては、お祭り広場の北側、食エリアの北側に、リッチな松林を植林したい。

それは134号線を走る途中で、<緑に包まれた>というエリア感を壊さないためと、防砂(風)の為である。

日本人が作ったもっとも美しい建物は、厳島神社だと言う人が多い。それは風と雨と、海流の満ちひきを最も計算した自然一体の姿であり、台風に壊されても、壊されても、それを楽しむ不死鳥のような建設理念に裏打ちされているからである。

今はゾーニングを、精神の中で<描く時>だと私は考えています。



- ◆ 1 人の、圧倒的なグランド・プロデューサーが、各ゾーニングのスペシャリスト(アーティスト)をまとめてゆく形が理想となる。
- ◆ 各委員や市民の声を十分に収斂させた最終段階は、誰をもく中に入れない>クリエイターの時間とすべきである。
- ◆ この集中の中で、結論されたプラン(A~C)を、再び執行部が検討してゆく形が理想となる。